

「ブレーキとシートベルト」

地球温暖化は「止めるための努力(緩和策)」と「止められなかった場合に備える努力(適応策)」を同時並行で進める必要があります。

1. CO₂削減(緩和策) ブレーキ

- 再生可能エネルギーの普及
- 省エネ製品や省エネ住宅の推進
- 低排出交通(EV、公共交通、カーシェア)
- 森林保全・植林(吸収源の確保)
- メタン・フロンなど強力な温室効果ガス削減
- 食生活の低炭素化(地産地消、フードロス削減)

2. 気温上昇への適応(適応策) シートベルト

- 都市のヒートアイランド対策(緑化・水辺空間)
- 水害・高潮対策インフラの強化
- 干ばつ・熱波に強い農作物の開発
- 高温下での労働安全基準の整備
- 気候災害への保険・復興体制の整備
- 感染症の北上・拡大に備えた医療体制

この2つはよく「ブレーキとシートベルト」に例えられます。

ブレーキ(CO₂削減)だけでは事故をゼロにはできず、シートベルト(適応策)がなければ被害が拡大します。